

通訳翻訳研究所 〈定例講演会第七回〉

日時

令和元年6月26日(水) 13:00～15:00

場所

愛知県立大学(長久手キャンパス)
学術文化交流センター 2階 小ホール

内容

翻訳と日本語力
—文章力を究めるには何が必要か—
川井 龍介 氏(ジャーナリスト・著述家)

参加申込

参加費不要, 事前予約不要

※プログラム詳細については,
愛知県立大学HPポータルサイト <http://www.aichi-pu.ac.jp> から
本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所



問合せ先 通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp)

「通訳翻訳研究所」定例講演会第七回
翻訳と日本語力
—文章力を究めるには何が必要か—

愛知県立大学「通訳翻訳研究所」は2016年4月の開設以来、順調に地歩を固め、活動四年目を迎えました。これも偏に学内外の皆さまのご協力あればこそと、衷心より感謝申し上げます。さて、本年度定例講演会の第一弾として、ノンフィクションライターとして数多の著述(米国ロングセラーとして有名な *No-No Boy* の翻訳を含む)を公刊されている川井龍介氏(ジャーナリスト)を講師にお招きし、翻訳と文章技術、ひいては、文章力とは何かについてお話を伺える運びとなりました。指定対象学生の他にも定員(80名)までは参加可能です(一般公開)。興味があれば、ぜひご来聴ください。

令和元年6月12日 研究所長 大森裕實

【講演要旨】

正しく、わかりやすく伝わる文章を書くにはどうしたらいいのか。翻訳をはじめ、入社試験などに出題される作文やさまざまな種類の文章を通して、それを考える——①「伝わる文章とは何か」;②「翻訳と文章技術〜『ノーノー・ボーイ』翻訳例を中心に」。

日時 令和元年6月26日(水) 13:00~15:00
(講義100分+Q&A's / Free Talk 20分)

会場 愛知県立大学 学術文化交流センター(2F 小ホール)



内容 講演 —— “翻訳と日本語力—文章力を究めるには何が必要か”

講師 川井 龍介 (ジャーナリスト・著述家)
※新訳書『ノーノー・ボーイ』(2016)が好評

司会 袖川裕美(副所長)

対象 外国語学部 EIC コース履修生/外国語学部通訳技法・翻訳技法履修生/
大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生
※その他ご興味のある方はご自由にご参加ください(一般公開)

参加 参加費無料、事前予約不要(定員80名)
申込 ※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで
TEL: 0561-76-8824 (学務課 [研究所担当] 阿部)
FAX: 0561-64-1107 (文系教員センター共用)